

進学説明会 資料

ルミエール府中

本日お話すること

- **都立高**入試のしくみ
- 今春の都立高入試を振り返って
- 都立高**学力検査問題**のポイント
- **スピーキングテスト**について
- **私立高**入試のしくみ
- **学費**

2024 (R6) 年度 都立高入試日程

推薦入試	日程
出願受付	2024(R6)年1月12日 (金) ~18日 (木)
検査	2024(R6)年1月26日 (金) ・ 27日 (土)
合格発表	2024(R6)年2月 2日 (金)

一般 (第一次・分割前期)	日程
出願受付	2024(R6)年1月31日 (水) ~2月 6日 (火)
願書取下げ	2024(R6)年2月13日 (火)
願書再提出	2024(R6)年2月14日 (水)
学力検査等	2024(R6)年2月21日 (水)
合格発表	2024(R6)年3月 1日 (金)

2023(R5)年度の出願情報入力期間は、
推薦：12/20~1/18
一般12/20~2/7

※インターネットを活用した出願受付期間については別途定める

都立 推薦入試のしくみ <2023(R5)年度入試を中心に>

<推薦枠>

推薦入試の募集枠は普通科と理数科が募集人員の**20%以内**、農業科、商業科、ビジネスコミュニケーション科、工業科、科学技術科、水産科、産業科が**40%以内**、そのほかの学科が**30%以内**となっています。

【2023(R5)年度の府中西高校の例】

性別	募集人員	推薦枠	推薦	一般
男子	154	20% →	30人	124人
女子	140	20% →	28人	112人

推薦枠が狭いため、倍率は上がりやすくなる。
(2023(R5)年度の府中西は男子2.17倍、女子2.71倍)

※2024(R6)年度入試で男女合同募集になれば、
男女合わせた募集人員の20%が推薦枠になります。

<文化スポーツ等特別推薦>

硬式野球やサッカー、バスケットボール、吹奏楽などの活動で、優れた技能や能力を評価する入試です。募集人員は種目別に定められており、上記の推薦枠に含まれます。

2023(R5)年度、府中西高校はハンドボール男女4人、ラグビー男子3人で特別推薦を実施したが、この募集数は推薦枠男子30人、女子28人に含まれる。

< 出願 >

推薦入試は志願する学校が**第一志望であること**が条件です。

第一志望校の同じ学科に複数の学科がある場合は、**第二志望の学科を指定することができます。**

ただし、普通科とコース制がある学校では、普通科を第一志望としてコースを第二志望とすること（またはその逆）はできません。また農業高校の農業系学科である食品科学科を第一志望として家庭科系学科である食物科を第二志望とする（またはその逆）こともできません。

異なる学科を第二志望に指定することはできないことになっています。

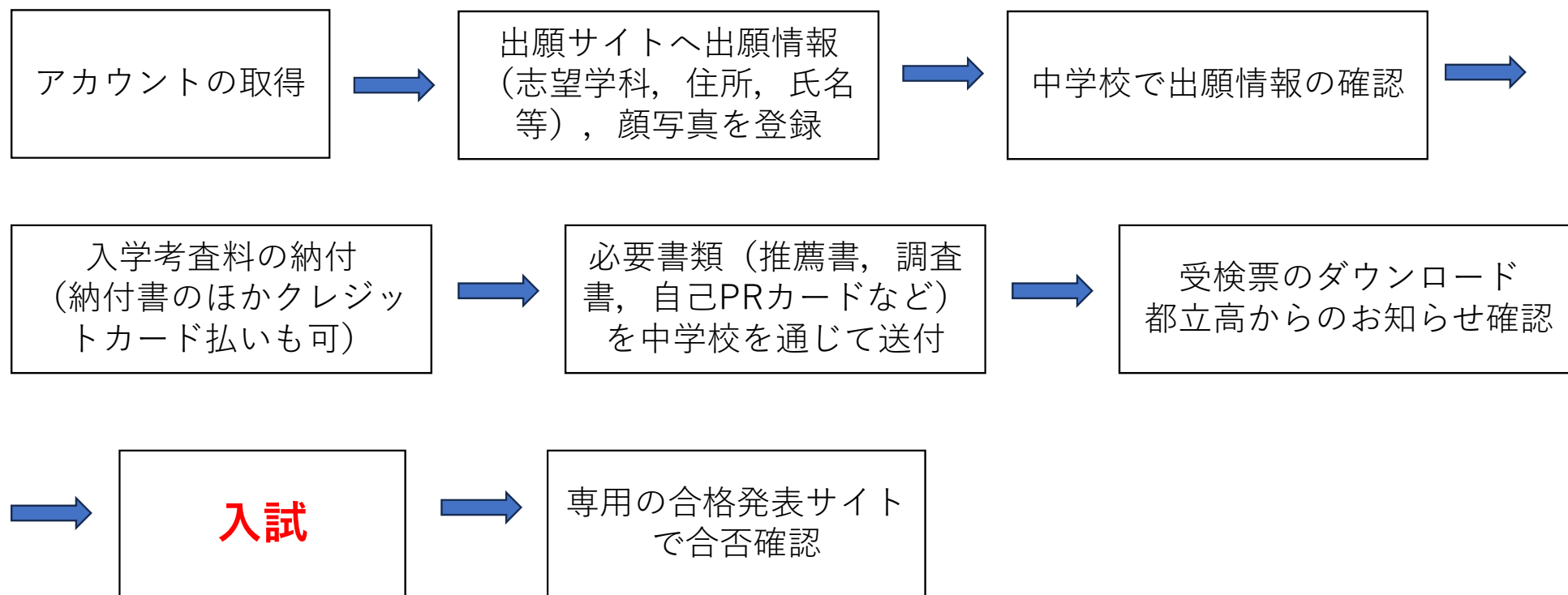
特別推薦に志願する場合は、1種目を指定して志願します。

また**志願した志望校の一般推薦にも同時に志願することができます。**

2023(R5)年度では特別推薦の志願者の71%が一般推薦にも志願した。

この場合、特別推薦と一般推薦の2回分の受検料が必要になる。

<インターネット出願について>



< 検査 >

志願者は全員が受ける**集団討論、個人面接**と、**小論文または作文、実技検査**、そのほか学校が設定する検査の中から1つ以上を実施します。なお、**2023(R5)年度入試では集団討論は行われませんでした。**

< 選考 >

選考は、調査書、集団討論・個人面接、実施した検査の結果を**点数化**し、その合計した成績（**総合成績**）によって合格者を決めていきます。

調査書点は観点別学習状況の評価または評定のどちらかを点数化します（ほとんど評定を活用）。**調査書点の満点は総合成績の50%以内**にすることになっています。

【2023（R5）年度の配点の例】

学校名	推薦枠	観点or評定	調査書点	個人面接	小論文or作文	実技検査	総合成績
調布北	20%	評定	500	200	小論文300	—	1000
府中東	20%	評定	450	250	作文200	—	900
町田工科	40%	評定	500	300	—	200	1000

総合成績の半分は調査書点が占めるので9教科の評定が推薦入試では重要。

都立 一般入試のしくみ <2023 (R5) 年度入試を中心に>

<応募資格>

一般入試（第一次募集）は、**推薦入試の合格者、中高一貫校の高校・後期課程に進学する予定**の人は応募できません。

また、**都立産業技術高専の合格者**は、この一般入試（第一次募集）に出願していても受検することはできません。

<出願>

1校1学科（コース）を選んで出願します。

志望する学校の同じ学科に複数の学科がある場合（芸術科除く）は、**すべての学科に志望の順位をつける**ことができます（**推薦入試は第二志望まで**でした）。

ただし、推薦入試同様、異なる学科に志望の順位をつけることはできません。

できる	
府中工科の機械科を第一志望	
第二志望	電気科
第三志望	情報技術科
第四志望	工業技術科

できない	
小平の外国語コースを第一志望	
第二志望	普通科
	✖
	✖

できない	
瑞穂農芸の食品科を第一志望	
第二志望	生活デザイン科
	✖
	✖

< 志願変更 >

願書提出後、**1回**に限り志願する学校を変更することができます。

同じ高校の**異なる学科への変更も可能**です。同じ学科への変更はできません。

また、全日制高校から定時制高校、昼間定時制高校への変更もできません。

チャレンジスクールや一橋、荻窪などの昼間定時制高校から全日制高校への志願変更は可能です。

できる	
府中（普）	↔ 府中西（普）
松が谷（普）	↔ 松が谷（外国語）
農業（食品科学）	↔ 農業（食物）
八王子拓真（1部）	➡ 秋留台（普）

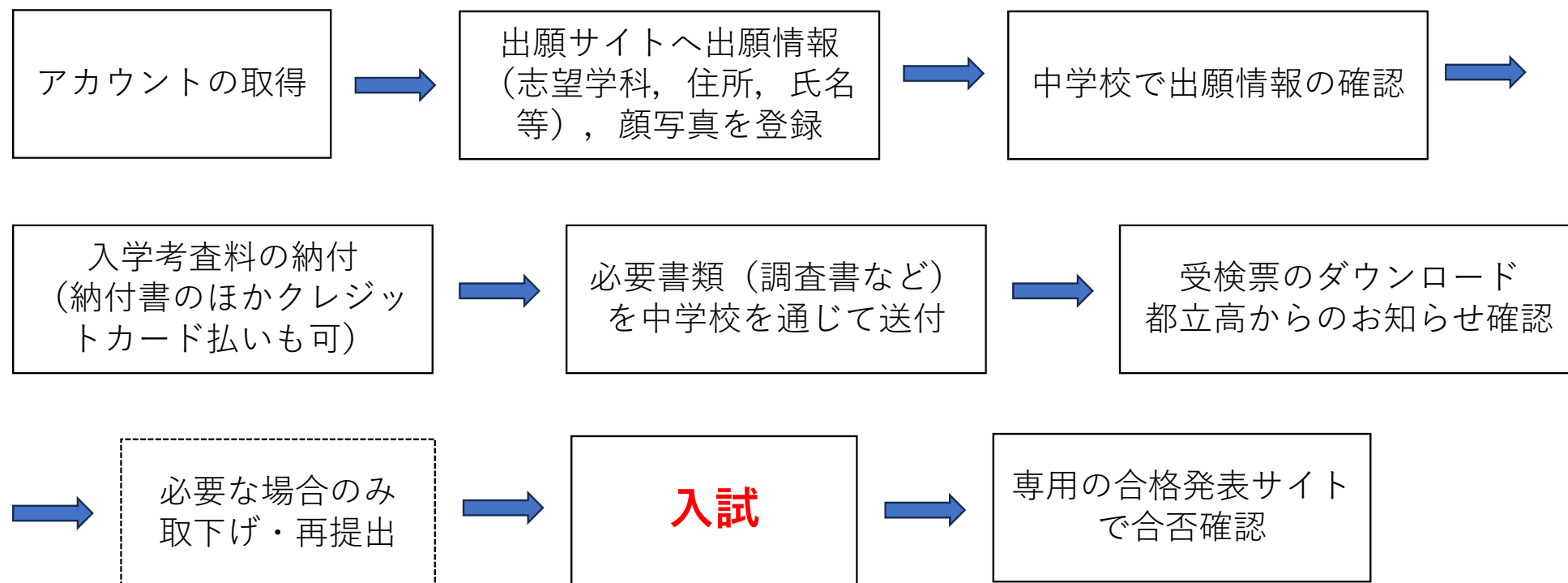
※秋留台(全日制)から八王子拓真(定時制)への変更はできない。

できない	
府中工科（機械）	✕ 府中工科（情報技術）
農業（食品科学）	✕ 農業（都市園芸）
新宿山吹（普通科1部）	✕ 砂川（1部）
青梅総合（定時制）	✕ 拝島（普）

※新宿山吹と青梅総合（定時制）は志願変更自体できない。

志願変更する人は応募者の5%程度、
志望校の変更を考えなくてもいいように、
志望校選択は慎重に行おう。

<インターネット出願について>



< 学力検査 >

学力検査は**国語、数学、英語、社会、理科の5教科**実施されます。

芸術科と保健体育科は国語、数学、英語の3教科です。

英語にはリスニングテストが含まれます。

各教科の満点は100点です。特定の教科を重視して配点を変える傾斜配点を行う学校もあります。

【時間割】

	開始	～	終了	時間	教科
集合	8:30				
第1時限	9:00	～	9:50	50分	国語
第2時限	10:20	～	11:10	50分	数学
第3時限	11:40	～	12:30	50分	英語
第4時限	13:30	～	14:20	50分	社会
第5時限	14:50	～	15:40	50分	理科

< 傾斜配点実施校 >

- 小平「外国語」・・・英2倍
- 松が谷「外国語」・・・国英2倍
- 多摩科学技術・・・数理1.5倍
など

休み時間は30分と長い。
昼食時間の60分と合わせて
この時間をじょうずに使う
ようにしましょう。

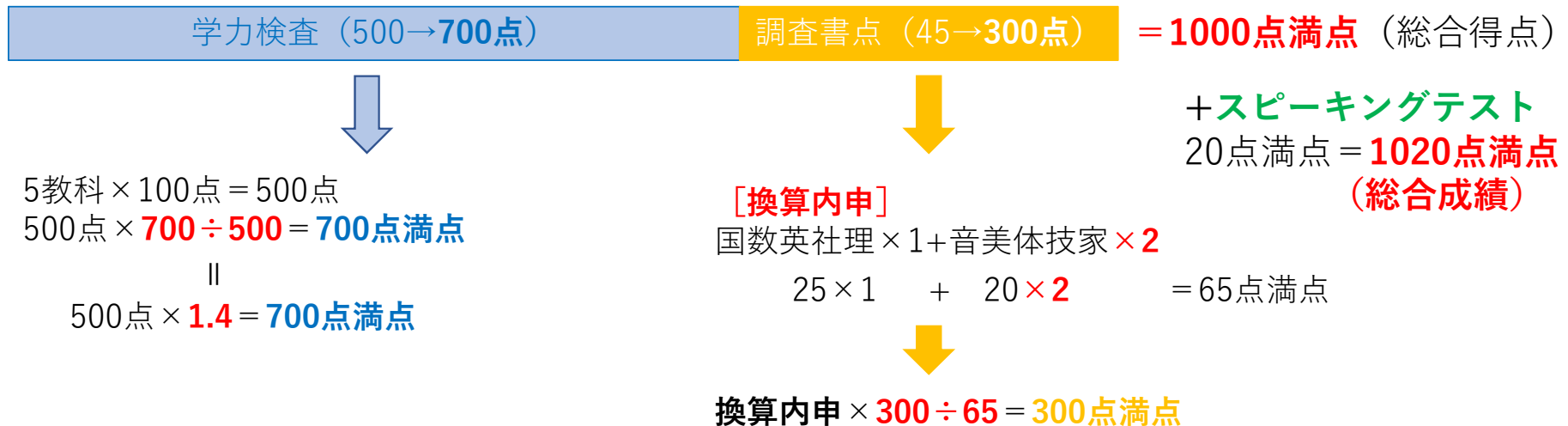
< 選考 >

選考は、**調査書と学力検査の結果**、面接や実技検査を実施した場合はその結果、さらにスピーキングテストの評価を**点数化し、その合計（総合成績）**によって行われます。

点数化する時、5教科で実施する学校は、**学力検査と調査書を7：3の割合で学力検査を700点、調査書点を300点に換算し、合計して1000点満点にします。**

芸術科と保健体育科は6：4で、学力検査を600点、調査書点を400点として1000点満点にします。この学力検査の得点と調査書点を合計した数値を「**総合得点**」といいます。

【総合得点の出し方】



【例】 学力検査の得点が **5教科合計で300点**、内申が**オール3**の生徒の総合得点の計算

[学力検査点]

$$300 \times 1.4 = 420$$

[調査書点]

$$\text{換算内申} \cdot \cdot 5\text{教科} \times 1(15) + \text{実技4教科}(12) \times 2(24) = 39$$

$$39 \times 300 \div 65 = 180$$

+ 600 → **総合得点**

学力検査点は総合得点の7割を占める。
試験当日の得点力がもっとも重要。
調査書に記載される評定は12月末の時点のもの。
調査書点は自分の持ち点。
ひとつでも上げる努力をする。

なお、芸術科・体育科の**3科入試校**は以下のような
る。

[学力検査点]

$$\text{国数英3科の得点} \times 2 = \text{600点満点}$$

[調査書点]

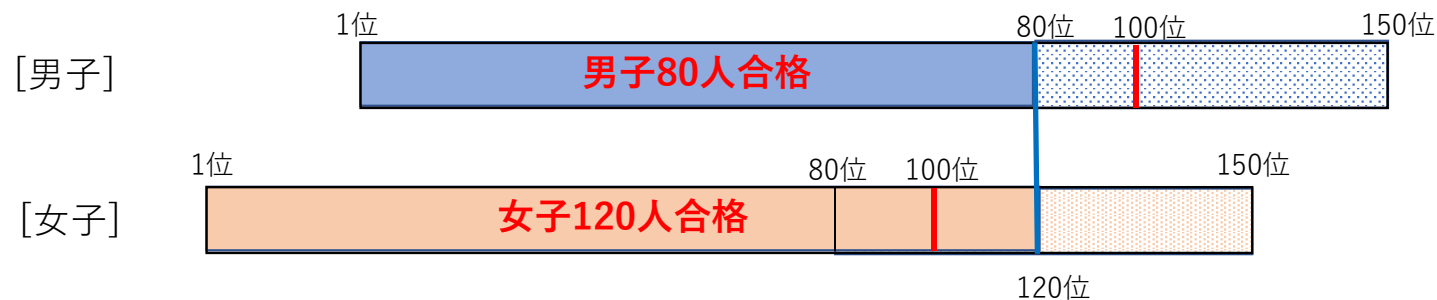
$$\text{国数英3科} \times 1 + \text{残りの6科} \times 2 = 75\text{点満点 (換算内申)}$$

$$\text{換算内申} \times 400 \div 75 = \text{400点満点}$$

< 男女別定員制の緩和 > ※2024(R6)年度より男女合同募集になる可能性があります。

男女別募集の普通科において、募集人員の8割までは男女別に選考し、**残りの2割を男女合同**で選考する制度です（R5年度実績）。男女で合格ラインの差がつかないようにするために行われます。

【例】 男子100人、女子100人を募集する学校で、
男子150人、女子150人の受検者があったとする。



残りの2割を男女合同で選考するので、男女どちらかの合格者が募集人員より少なくなることがあるということで、多くの場合、男子の合格者が減り女子が増える。2023（R5）年度で、上記のように男子の合格者が募集人員の8割で留まった学校は10校程度。それらの学校ではその分女子の合格者が増えた。

【2023（R5）年度 男女別定員制の緩和の適用例】

学校名	性別	募集人員	受検者	倍率	合格者	実質倍率	合格率
国立	男子	132	173	1.31	135	1.28	78.0
	女子	121	168	1.39	125	1.34	74.4
神代	男子	132	207	1.57	106	1.95	51.2
	女子	121	244	2.02	150	1.63	61.5
調布南	男子	100	199	1.99	104	1.91	52.3
	女子	91	152	1.67	89	1.71	58.6

※受検倍率 = 受検者 ÷ 募集人員、実質倍率 = 受検者 ÷ 合格者

男女別定員制の緩和によって、募集人員は男子の方が多い（中学3年生の男女比は男子が多いから）のに、合格者数は女子の方が多くなり、その結果、上記の神代のように男子の実質倍率は受検倍率より上がり、女子は下がるのが一般的。
しかし、男女の倍率差によって男女とも募集人員以上の合格者がでる場合（国立）や女子の合格者が削られる場合（調布南）がある。

<男女合同募集の影響>

一般入試においては一部の学校で女子の合格者数が極端に多くなる可能性があります。しかし、その他の学校では男女の合格者数に差が生じたとしても、今春の入試のように男女とも一定程度の合格者がでると予想されます。従って、男女合同募集になっても大きな影響はないものと見込まれます。

一方**推薦入試**においては、学力検査がないことや女子の応募者が男子より多いこともあり、男女の合格者のバランスが大きく崩れる可能性があります。

●一般入試で男女どちらかの合格者が8割で留まった学校

男子が8割	女子が8割
三田、広尾、鷺宮、豊多摩、井草、竹早、竹台、日本橋、富士森、神代、東村山	東大和南

●一般入試で男女どちらかの合格者が8割～9割で留まった学校

男子が8割～9割（近隣校のみ）	女子が8割～9割（近隣校のみ）
駒場(88.6)、松原(84.8)、昭和(84.8)、福生(88.8)、小平(85.5)など	東大和(88.7)、武蔵村山(88.7)、拝島(86.8)、保谷(88.4)など

●単位制普通科高校の選抜状況＜一般入試＞

学校名	募集人員	受検者				合格者				合格率	
		男子	女子	計	倍率	男子	女子	計	実質	男子	女子
芦花	220	140	269	409	1.86	75	147	222	1.84	53.6	54.6
翔陽	188	99	97	196	1.04	97	94	191	1.03	98.0	96.9
国分寺	252	209	174	383	1.52	144	113	257	1.49	68.8	64.9
上水	188	96	147	243	1.29	76	114	190	1.28	79.2	77.6

●単位制普通科高校の選抜状況＜推薦入試＞

学校名	募集人員	応募者				合格者			合格者÷応募者%	
		男子	女子	計	倍率	男子	女子	計	男子	女子
芦花	56	37	140	177	3.16	5	51	56	13.5	36.4
翔陽	48	25	63	88	1.83	11	37	48	44.0	58.7
国分寺	64	61	127	188	2.94	19	45	64	31.1	35.4
上水	48	37	99	136	2.83	15	33	48	40.5	33.3

< 第二次募集・分割後期募集・追検査 >

第一次募集で欠員が生じた学校は第二次募集を行います。分割募集実施校（あらかじめ募集人員を前期と後期に分けて募集する学校）の後期募集はこの第二次募集と同じ日程で行われます。第一次募集・分割前期募集で男女別に募集していた学校も、第二次募集・分割後期募集では**男女合同募集**になります。

また、インフルエンザ等（新型コロナウイルス感染症も含む）で第一次募集を受検できなかった生徒に対する追検査も同様です（ただし志願変更はできません）。

一般（第二次・分割後期）	日程
出願受付（ 窓口 ）	2024(R6)年3月 6日（水）
願書取下げ	2024(R6)年3月 7日（木）
願書再提出	2024(R6)年3月 8日（金）
学力検査等	2024(R6)年3月 9日（土）
合格発表	2024(R6)年3月14日（木）

【応募資格】

第二次募集・分割後期募集には推薦入試、一般入試の第一次募集（分割前期募集）等の合格者、中高一貫教育校の高校・後期課程への進学予定者、都立産業技術高専の合格者は応募できません。

【出願と志願変更】

第二次募集・分割後期募集は実施校の1校に出願します。志望校に複数の学科があり、それらの学科でも募集がある場合はほかのすべての学科に志望の順位をつけることができます。

第一次募集（分割前期募集）でできなかった**異なる学科への順位付けも可能**です（芸術科を除く）。なお、出願はすべて紙により志望校の窓口に出願します。

追検査は第一次募集で第一志望とした学科のみに出願します。

できる	
小平の外国語コースを第一志望	
第二志望	普通科

できる	
瑞穂農芸の食品科を第一志望	
第二志望	生活デザイン科

願書提出後1回に限り志願変更することができます。第一次募集・分割前期募集と同様で、チャレンジスクールや荻窪、八王子拓真（一般枠）などから全日制への変更は可能ですが、全日制から昼間定時制への変更はできません。

また、追検査に出願した場合、志願変更はできません。

【学力検査】

学力検査は国語、数学、英語の3教科で、追検査の場合はこれ以外に面接、小論文、作文、実技検査、学校設定検査（社理の内容を含む検査）から学校が選んで実施します。

【時間割】

	開始 ~ 終了	時間	教科
集合	8 : 30		
第1時限	9 : 00 ~ 9 : 50	50分	国語
第2時限	10 : 20 ~ 11 : 10	50分	数学
第3時限	11 : 40 ~ 12 : 30	50分	英語

【選考】

学力検査の得点と調査書の比率は**6 : 4**です。

学力検査の得点を600点に換算し、調査書点は国語、数学、英語の3教科を1倍、その他の教科を2倍した75点満点の換算内申を400点に換算します。

追検査の比率は7 : 3で、学力検査の得点と学校設定検査を合わせて700点に、調査書点は学校設定検査を実施する学校は国語、数学、英語、社会、理科の5教科を1倍、実技4教科を2倍して65点満点の換算内申を300点に換算、学力検査のみの場合は3教科1倍、その他の6教科を2倍した75点満点を300点に換算します。

2023（R5）年度 都立高入試概況

< 推薦入試概況 >

【文化・スポーツ等特別推薦】

文化・スポーツ等特別推薦の募集人員891人に応募者は1,697人、**応募倍率1.90倍**で前年度（1.93倍）より0.03ポイントダウンしました。

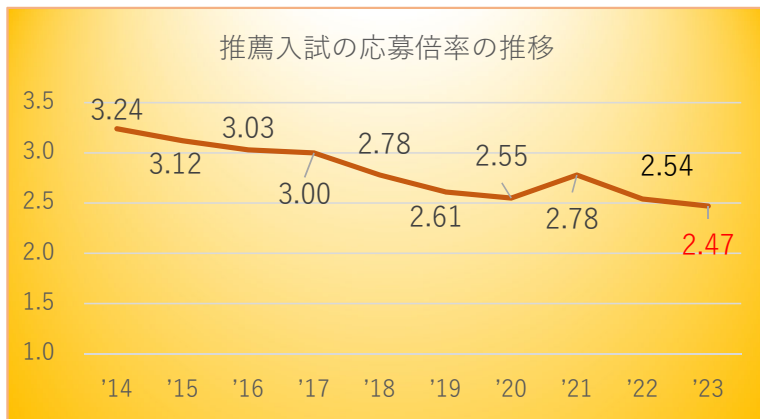
私立高の授業料支援制度の充実の中で、特別推薦にも影響がでており、2018（H30）年度以降1倍台が続いています。



【推薦入試】

全日制の推薦入試（文化・スポーツ等特別推薦の募集数含む）の募集人員9,353人に対し応募者は23,132人、**応募倍率は2.47倍**（前年度2.54倍）で前年度より0.07ポイントダウンし、普通科に推薦入試が導入された1995（H7）年度以降でも**もっとも低い倍率**になりました。

都立高を第一志望としている人の推薦応募率も下がっており（2021（R3）年度より33.3→30.4→29.8%）推薦離れが進行しています。



男女別募集の**普通科男子の応募倍率は2.60倍**（前年度2.69倍）、**女子3.20倍**（同3.25倍）と男女ともダウン、**単位制普通科も2.83倍**（同3.11倍）と3倍を切りました。

専門学科では**商業科1.39倍**（前年度1.38倍）と**農業科1.99倍**（同1.99倍）は前年度並みを維持したものの、**工業科（単位制除く）1.21倍**（同1.35倍）、**産業科1.60倍**（同1.99倍）などはダウン、専門学科全体でも1.55倍（同1.63倍）に下がりました。

工科高校と校名を変更した工業科は過去最も低い倍率を更新、1.2倍台も初めてです。産業科は2008（H20）年度の1.57倍に次ぐ2番目に低い倍率。専門学科全体も過去最も低く、1.5倍台まで下がったことはありません。専門学科は普通科に比べて推薦枠が広く倍率も低めですが、それでも普通科との差は大きく、普通科に偏った応募状況といえるでしょう。

推薦合格者数は9,161人、受検者（23,062人）に特別推薦と一般推薦両方に応募した人数がカウントされているため一概に言えませんが、おおむね6割の生徒が不合格になっていることになります。

しかし、多摩地区の普通科では小平「男子」、羽村「男子」、五日市「男女」が応募者全員合格、専門学科では多摩工科「デュアルシステム」と田無工科「機械」で第2志望者を受け入れています。立川「創造理数」は学校が定めた基準に達した生徒が少なかったのか、応募者は多かったものの8人の募集人員に5人の合格者でとどまりました。

< 一般入試概況 >

【応募状況と志願変更】

全日制の**募集人員30,825人**（海外帰国生徒募集含む）に対し、2月7日までの応募者数は42,238人、**応募倍率は1.37倍**で前年度と全く同じ倍率になりました。

願書を取り下げた人数は2,106人、応募者の5.0%でした。前年度は取り下げ日が2月10日で私立高入試の開始日に当たっていたため6.5%から4.7%に下がりましたが、今春は日程の重複なく差替えしやすかったはずで、それでも微増で留まったのは、のちほど述べるように最初から安全志向で志望校選択したためと考えられます。

志願変更後の**最終応募者数は応募締め切り時と同じ42,238人**、最終応募倍率は**1.37倍**でした。男女別募集の普通科で男女どちらかが定員割れとなった学校、専門学科等で1学科でも定員割れになった学校は合わせて延べ51校となり**全体の3分の1**に達しています。

募集人員	応募者数	倍率	取下げ	取下げ率	最終応募者数	倍率
30,825	42,238	1.37	2,016	5.0	42,238	1.37

【他県公立の状況】

地域	倍率
埼玉	1.11倍
千葉	1.12倍
神奈川	1.17倍

倍率は2021(R3)年度より3年間1.3倍台の過去最低水準で推移しています。これは私立高授業料支援制度の拡大と通信制志向によるもので、都立離れが続いているといえます。しかし右にあるように東京都は、それでも首都圏の公立高入試で突出して倍率が高い地域でもあります。

【学科別応募状況】

学科別で見ると、普通科**男子が1.46倍**で前年度より0.01ポイント下がったもののほぼ前年度並み、**女子は1.46倍**で前年度と同じでした。コース制と単位制普通科は下がり普通科は各科・コースで似たような倍率になりました。専門学科の動きはさまざまですが、工業科と産業科は下降傾向で両学科とも過去最も低い倍率になりました。専門学科全体の平均倍率は1.02倍でこれも過去最も低い倍率を更新しています。

【受検状況と受検棄権率】

全日制の受検者数は39,608人、**受検倍率は1.29倍**で前年度と同じで都立高入試としては低い1.2倍台が続いています。

受検を棄権した人は2,520人、**受検棄権率は6.0%**で前年度（5.9%）とほとんど変化はありませんでした。一方で追検査の申請者が52人（前年度は142人）となり、コロナ禍による入試への影響もやや落ち着いた形です。

学科	R3	R4	R5
普通科男子	1.43	1.46	1.45
普通科女子	1.48	1.46	1.46
コース制	1.07	1.58	1.46
単位制普通科	1.38	1.48	1.42
商業科	0.83	0.85	0.96
工業科	0.91	0.85	0.74
農業科	1.12	1.09	1.17
家庭科	1.29	0.65	1.00
産業科	1.24	1.13	1.01
総合学科	1.11	1.14	1.28

【合格者の状況と実質倍率】

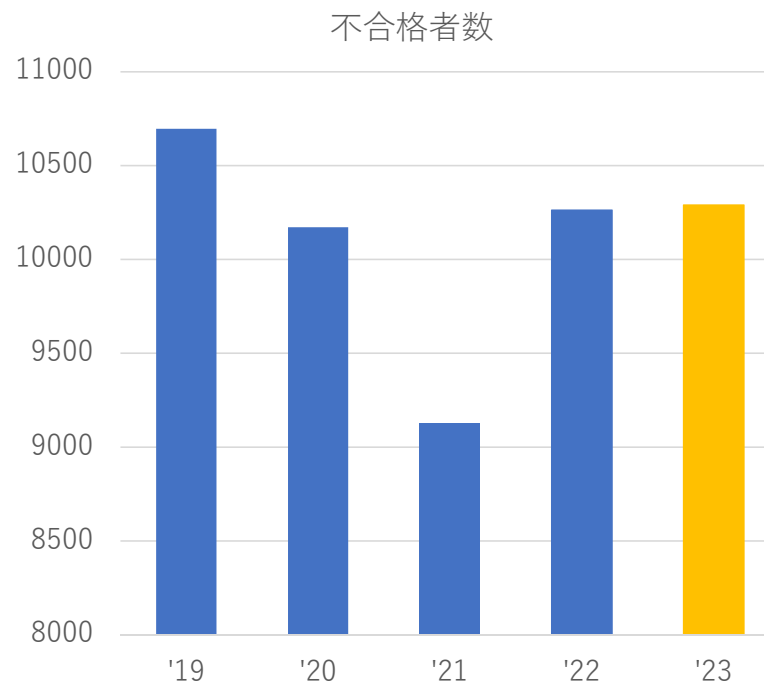
合格者数は29,319人、**実質倍率は1.35倍**で前年度（1.36倍）より0.01ポイントダウンしたものの、ほぼ前年度並みの水準でした。受検倍率の1.29倍に対し、実質倍率が0.06ポイント上がったのは定員割れが多く合格者が募集人員より少なかったからです。

年度	募集人員	合格者数	差
'23(R5)	30,723	29,319	-1,404
'22(R4)	30,204	28,640	-1,564

※帰国募集除く

一方で、**不合格者数は10,289人**で前年度（10,262人）とほぼ同じで多くの受検生が涙をのんでいます。

欠員も不合格者も多いのは偏った入試になっているから。
高倍率校と低倍率校の差が大きくなっている。



●男女別普通科の学力別不合格者数

偏差値	学校名	2022(R4)		2023(R5)	
		男子	女子	男子	女子
60～	重点校7校のほか，小山台，竹早，三田，駒場，小松川，武蔵野北， 小金井北	865	874	743	784
55～	豊多摩，北園，町田，日野台， 調布北 ，昭和，文京，上野，目黒，南平，小平， 狛江 など	1055	1060	984	836
50～	江戸川，東大和南，清瀬， 神代 ，石神井，豊島， 小平南 ， 調布南 ，雪谷，広尾，深川など	965	1015	998	801
45～	武蔵丘，江北，東， 府中 ，杉並，本所，松が谷，保谷，鷺宮，小岩，富士森，日野など	700	641	962	825
40～	高島，足立，小川，松原，紅葉川，田無， 府中西 ，片倉， 府中東 ，大崎，桜町など	421	353	504	449
30～	足立西，日本橋，久留米西，竹台，八王子北，小平西，葛飾野，武蔵村山， 永山 など	239	195	365	221

【進学相談会参加校の一般入試の選抜状況①】

学校名	性別	募集人員	最終応募	倍率	受検者数	倍率	合格者数	実質
国立	男子	132	194	1.47	173	1.31	135	1.28
	女子	121	178	1.47	168	1.39	125	1.34
小平南	男子	116	178	1.53	169	1.46	111	1.52
	女子	106	167	1.58	158	1.49	113	1.40
小金井北	男子	100	126	1.26	114	1.14	92	1.24
	女子	91	143	1.57	131	1.44	101	1.30
狛江	男子	133	242	1.82	218	1.64	126	1.73
	女子	121	192	1.59	182	1.50	132	1.38
神代	男子	132	229	1.73	207	1.57	106	1.95
	女子	121	258	2.13	244	2.02	150	1.63
調布北	男子	99	145	1.46	129	1.30	94	1.37
	女子	91	136	1.49	129	1.42	99	1.30

【進学相談会参加校の一般入試の選抜状況②】

学校名	性別	募集人員	最終応募	倍率	受検者数	倍率	合格者数	実質
調布南	男子	100	222	2.22	199	1.99	104	1.91
	女子	91	169	1.86	152	1.67	89	1.71
永山	男子	125	137	1.10	131	1.05	119	1.10
	女子	109	123	1.13	122	1.12	117	1.04
府中	男子	116	235	2.03	214	1.84	108	1.98
	女子	106	213	2.01	202	1.91	117	1.73
府中西	男子	124	161	1.30	154	1.24	122	1.26
	女子	112	153	1.37	148	1.32	117	1.26
府中東	男子	126	181	1.44	167	1.33	117	1.43
	女子	115	168	1.46	162	1.41	124	1.31

【進学相談会参加校の一般入試の選抜状況③】

学校名	学科	募集人員	最終応募	倍率	受検者数	倍率	合格者数	実質
農業	都市園芸	23	25	1.09	25	1.09	24	1.04
	食品科学	23	26	1.13	26	1.13	24	1.08
	緑地計画	23	27	1.17	27	1.17	24	1.13
	計	69	78	1.13	78	1.13	72	1.08

学校名	学科	募集人員	最終応募	倍率	受検者数	倍率	合格者数	実質
農業	服飾	25	25	1.00	23	0.92	24	0.96
	食物	25	40	1.60	39	1.56	26	1.50
	計	50	65	1.30	62	1.24	50	1.24

【進学相談会参加校の一般入試の選抜状況④】

学校名	学科	募集人員	最終応募	倍率	受検者数	倍率	合格者数	実質
府中工科	機械	21	33	1.57	29	1.38	21	1.38
	電気	42	20	0.48	16	0.38	29	0.55
	情報技術	21	29	1.38	28	1.33	21	1.33
	工業技術	21	19	0.90	19	0.90	21	0.90
	計	105	101	0.96	92	0.88	92	1.00

都立高 学力検査問題のポイント

【マークシート方式】

数学の解答用紙(表面)

* 受験番号欄は裏面にもあります。

解答用紙 数学

● 解答がマークシート方式により解答する問題です。
解答用紙にマークする際の注意

- HB又はBの鉛筆(シャープペンシルも可)を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 答えを改訂ときは、きれいに消して、消しすぎを避けること。
- 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

正しい例	悪い例
●	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○
○	○

[問1]		①	○	○	○	○
[問2]	2	②	○	○	○	○
[問3]						
[問4]						
[問5]	$x =$					$y =$
[問6]						

* 解答欄は裏面にあります。

数学の解答用紙(裏面)

解答用紙 数学

受 験 番 号								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>								

<p>[問2] (証明)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; margin-top: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">$X=Y$</p>		<p>[問2] ① (証明)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; margin-top: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">$\triangle QRP$は二等辺三角形である。</p>
--	--	---

マークシート方式の注意点

- 鉛筆が適しているが、シャープペンシルを使用する場合は芯の太さが**0.5mm以上**のものを使う
- 芯の濃さは**HBまたはB**がよい
- マークの塗り方は、枠内を**黒くていねいに塗りつぶす**
- マークを塗りつぶす時間がかかるので**時間配分に注意**する
- マークシート方式は慣れが必要。模試などで体験しておこう

【受検者平均点の推移】

年度	国語	数学	英語	社会	理科	5教科計
2023(R5)	80.8	57.6	62.8	55.6	59.4	316.2
2022(R4)	68.8	59.0	61.1	49.2	61.4	299.5
2021(R3)	72.5	53.3	54.1	54.6	47.8	282.3
2020(R2)	81.1	61.1	54.7	57.0	53.4	307.3
2021(H31)	71.0	62.3	54.4	52.7	67.1	307.5

各教科とも60点前後の平均点になることが多い。
2023(R5)年度は国語以外の4教科で60点前後の平均点になった。
2024(R6)年度は国語の難易度が上がる？

【国語】

大問	問題分野	配点	正答率
□1	漢字の読み	10点	75.3%
□2	漢字の書き	10点	83.3%
□3	文学的文章の読解	25点	89.7%
□4	説明的文章の読解	30点	79.7%
□5	古典を引用した文章の読解	25点	64.3%

<まとめと指導の改善の視点>

- 3登場人物の会話の内容、場面の展開、行動描写・情景描写等に着目し登場人物の心情や変容について考える。
- 4筆者の意図を捉えるだけでなく、文章中のキーワードがどのように説明されているか正確に整理する。
- 5伝えたい微妙なニュアンスを「助詞」を使うことによって相手によりよく伝えられることに気づき、「助詞」が文脈の中でどのような働きをしているか注意する。

- 1(2)河畔の堤 (48.7%)
- 2(4)イチジルしく進歩する (66.6%)
答 □1(2)カハン、□2(4)著
- 4(5)200字の作文 (10点、81.9%)

作文のポイント

- テーマに即した自分の意見、主張を適切に書く
- 筆者の主張を踏まえて書く
- 自分の意見、主張の根拠となる具体的な体験や見聞について書く
- 200字の作文を書くのにどれくらいの時間が必要かつかんでおく

【数学】

大問	問題分野	配点	正答率
□1	小問集合	46点	76.5%
□2	数理的考察	12点	26.8%
□3	関数	15点	42.1%
□4	平面図形（台形）	17点	40.9%
□5	空間図形（正四面体）	10点	7.8%

<まとめと指導の改善の視点>

- 1 4図形の中の合同な図形や相似な図形に着目して既習事項に関連付けて考える。
- 2 4問題文から条件を読み取り立式する。推論の過程を根拠に基づき相手にわかりやすく伝える
- 5 実際に立体を作る。立体の見取り図、展開図、投影図を用いてその図形の持つ性質を読み取る。空間における図形の位置関係を捉えたり、空間図形を平面図形に帰着させて考える。

$$\square 1(3)(\sqrt{6}-1)(2\sqrt{6}+9) \quad (73.6\%)$$

$$(6)2x^2-3x-6=0 \quad (72.2\%)$$

$$\text{答}(3)3+7\sqrt{6} \quad (6) \frac{3 \pm \sqrt{57}}{4}$$

(9)作図（6点、54.7%）

$$\square 2(2) \text{証明} \quad (7点、21.9\%)$$

$$\square 4(2) \text{①証明} \quad (7点、61.4\%)$$

ポイント

- □1で確実に得点する
 - 作図、証明問題は部分点がつくので、途中までしかできなくても書いておく
 - 大問の最初の問いはすべて手を付ける（正答率が高い問題が多い）
- $$\square 2(1)31.7、\square 3(1)73.7、\square 4(1)59.8\%$$

【英語】

大問	問題分野	配点	正答率
□1	リスニング	20点	62.1%
□2	対話文と図表の読み取り	24点	54.5%
□3	対話文の読解	28点	65.0%
□4	物語文の読解	28点	49.7%

<まとめと指導の改善の視点>

- 1 2 まとまりのある文章を聞いたり読んだりして、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて必要な情報、概要、要点を捉える力を高める。自分の考えを英語で表現する力を高める。
- 3 4 まとまった量の文章を用いて、対話の流れや登場人物の考えを把握する。本文のあらすじや主人公の心情の変化を把握する。様々な文章に触れ幅広い表現の定着を図る。

- 1B(2)英問英答 (4点、20.5%)
- 23(2)条件英作文 (12点、56.9%)
- 4(2)並び替え (整序問題)
(4点、39.6%)

ポイント

- リスニングは5W1H
- 英作文は条件に従って書く。
文法やスペルのミスはしない
- 長文を速く正確に読むこと

【社会】

大問	問題分野	配点	正答率
□1	小問集合	15点	82.8%
□2	世界地理	15点	59.0%
□3	日本地理	15点	57.9%
□4	歴史	20点	39.0%
□5	公民	20点	49.5%
□6	3分野総合	15点	26.9%

<まとめと指導の改善の視点>

地理・・・地図帳を活用し、複数の地理情報を関連付けて考察し、地域的特色を理解する。

歴史・・・様々な資料を活用し、歴史的事象を考察する。

公民・・・日本国憲法の基本的な考え方、政治や経済の諸制度の成り立たせている考え方や仕組みを理解する。

□5(4)論述問題 (47.5%)

□6(2)テーマを明確にした国際博覧会のテーマと国の場所を年表と地図から記号を選択する (29.1%)

答：2000年に「人間・自然・技術」をテーマにしたドイツ

ポイント

●□1を解いた後は得意な分野から手を付ける

●論述問題は、社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考察し表現する。

【理科】

大問	問題分野	配点	正答率
□1	小問集合	24点	67.4%
□2	科学的思考力	16点	49.3%
□3	地球	16点	44.7%
□4	生命	12点	66.1%
□5	粒子	16点	43.3%
□6	エネルギー	16点	47.9%

<まとめと指導の改善の視点>

- 3 実験の目的等に関する基礎的・基本的な知識、技能、表現力を定着させる。
- 5 イオンの生成に関する基礎的・基本的な知識、技能を定着させる。
- 6 既習事項や観察・実験の結果、複数の事物・現象等に関連付けて考察する。

□1(2) 岩石のスケッチABと玄武岩のでき方の組み合わせから選ぶ。
(42.2%)

答：エ（黒っぽい図Bと「マグマが急激に冷えて固まってできた」の組み合わせ）。

ポイント

- 社会同様、□1を解いてから得意な分野順に取り組む
- 観察・実験は必ず出題されるので、左記の点に注意してまとめておく

スピーキングテストについて

- 2023（R5）年度入試より、**スピーキングテストの結果が総合得点に加算**して選考されています。
- 加算されるのは**第一次募集・分割前期募集のみ**で、推薦入試と分割後期・第二次募集は対象外です。また学力テストを行わないエンカレッジスクールやチャレンジスクールでもスピーキングテストの結果は活用されません。

●評価の点数化

スピーキングテストはA～Fの6段階で評価され、調査書にはA～Fで記載されます。都立高校ではその評価を下記の得点にあてはめて総合得点に加算します。

結果の評価	A	B	C	D	E	F
得点	20点	16点	12点	8点	4点	0点

学力検査 (500→700点)

調査書点 (45→300点)

+スピーキングテスト
20点満点 = **1020点満点**

●不受検者の扱い

英語の学力検査の得点で順位を決め、スピーキングテストと同じ順位の上5人ずつ以上の点数の平均値を下記の表に当てはめ、それを不受検者のスピーキングテストの結果とします。

18点以上→A	14～18点未満→B	10～14点未満→C
6～10点未満→D	2～6点未満→E	2点未満→F

●出題のねらいと形式

Part	出題のねらい	出題形式	出題数	評価の観点		
				コミュニケーションの達成度	言語使用	音声
A	英語音声の特徴を踏まえ音読ができる力をみる	英文を読み上げる	2			○
B	図示された情報を読みとり、それに関する質問を聞き取ったうえで、適切に応答する力や、図示された情報をもとに「質問する」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などやり取りする力を見る	質問を聞いて応答する・意図を伝える	4	○		
C	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。	ストーリーを英語で話す	1	○	○	○
D	身近なテーマに関して聞きたいことについて、自分の意見とその意見を支える理由を伝える力をみる。	自分の意見を述べる	1	○	○	○

●評価の観点と分析

(ア)コミュニケーションの達成度[2段階 (0～1)]コミュニケーション目的の成立
(イ)言語使用[5段階 (0～4)]語彙や表現の使い方や幅広さ、内容の一貫性、論理構成
(ウ)音声[4段階 (0～3)]発音、イントネーション など

<ア>コミュニケーションの達成度

イラストに描かれた内容を、学んだ語彙や表現を活用して伝えることが十分ではない。

<イ>言語使用

語彙、表現や文法を幅広く活用した伝え方が十分ではない。

<ウ>音声

抑揚をつけた話し方や伝え方が十分ではない。

●参考URL

【特設ページ】中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J)

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/esat-j.html>

「国際教育・東京ポータル」<http://www.tokyo-portal-edu.metro.tokyo.lg.jp/speaking-test.html>

英語学習のための映像資料「話すことトレーニング」

http://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/materials/jh_training/

●2022(R4)年度実施の得点状況と評定割合の比較

A～Fの段階別分布は下記の左の表のとおりです。また右の表は2022(R4)年度（2023(R5)年度受検生）の中学3年生の英語の評定状況で、この二つの表を比較すると似たような割合になっていることがわかります。

スピーキングテストで評価「A」になるのは、評定「5」をとるのと同じほど難しいということになります。しかし、英語の評定「5」の生徒がスピーキングテストで「A」になるとは限らず、ふだんから教材などを使って英語を音読するなどの対策が必要です。

段階別評価	分布
A	16.8%
B	25.6%
C	31.4%
D	16.9%
E	8.3%
F	0.9%

英語の評定	評定割合
5	14.0%
4	20.5%
3	42.9%
2	17.8%
1	4.8%

私立高入試のしくみ

< 推薦入試 >

【出願条件】

- ① **第一志望** であること
- ② 校長先生の **推薦書** があること
- ③ 志望校の **推薦基準** に達していること
- ④ 原則として「**入試相談**」を行ってから出願する

< 推薦基準 >

- 多くの場合、**内申で示される**
例 > 9科36or5科20or3科12
※実技は2倍しない（そのまま単純合計）
- **欠席日数や遅刻・早退**の数も条件に加わることがある
- **検定試験の資格や部活動・校外活動の実績**を評価することも多い（**加点措置、加点制度**）

< 入試相談 >

- 私立高校と中学校の先生との間で、推薦基準に達しているか、どのような中学校生活を送ってきたのかを確認し「合格の可能性」を伝える場。
- 毎年12月15日から数日間行われる

<一般入試>

- **併願優遇**
- 第一志望優遇（単願優遇）
- フリー受験

<併願優遇>

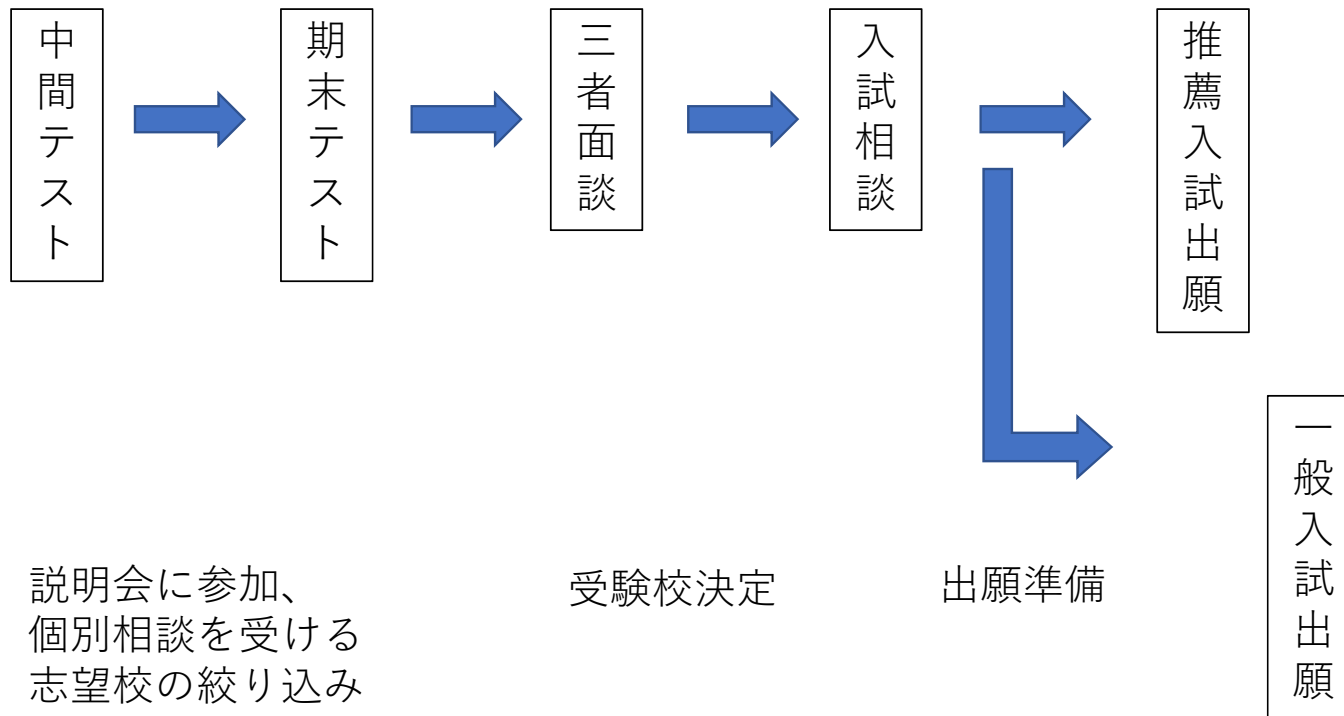
- 第一志望校が他にあり、おもにその私立高校を第二志望として受験する場合に利用する制度。
- 第一志望校に不合格になった場合、入学する必要がある（条件あり）。
- 推薦入試同様、**内申等の基準がある**
欠席日数や遅刻・早退の数が条件に加わったり、**検定試験の資格や部活動・校外活動の実績**を評価されるのも推薦入試同様（ただし推薦入試と内容が異なることがある）。
- 都立高校を第一志望とする場合が多いが、**他の私立高校を第一志望として受験**できる場合や**複数校の受験を認める**学校も増えている。
- 原則として「**入試相談**」が必要
- 併願優遇を行っていない私立高校も多い

条件があれば併願優遇は利用したほうが良い。第一志望校の受験に集中できる。
ただし、入学しても充実した高校生活が送れると判断できる高校を選択すること。

<フリー受験>

- 試験当日の検査の結果と調査書等で合否が決まる。
- 入試相談は必要ない
- 可能な範囲で自由に受験できる

<スケジュール>



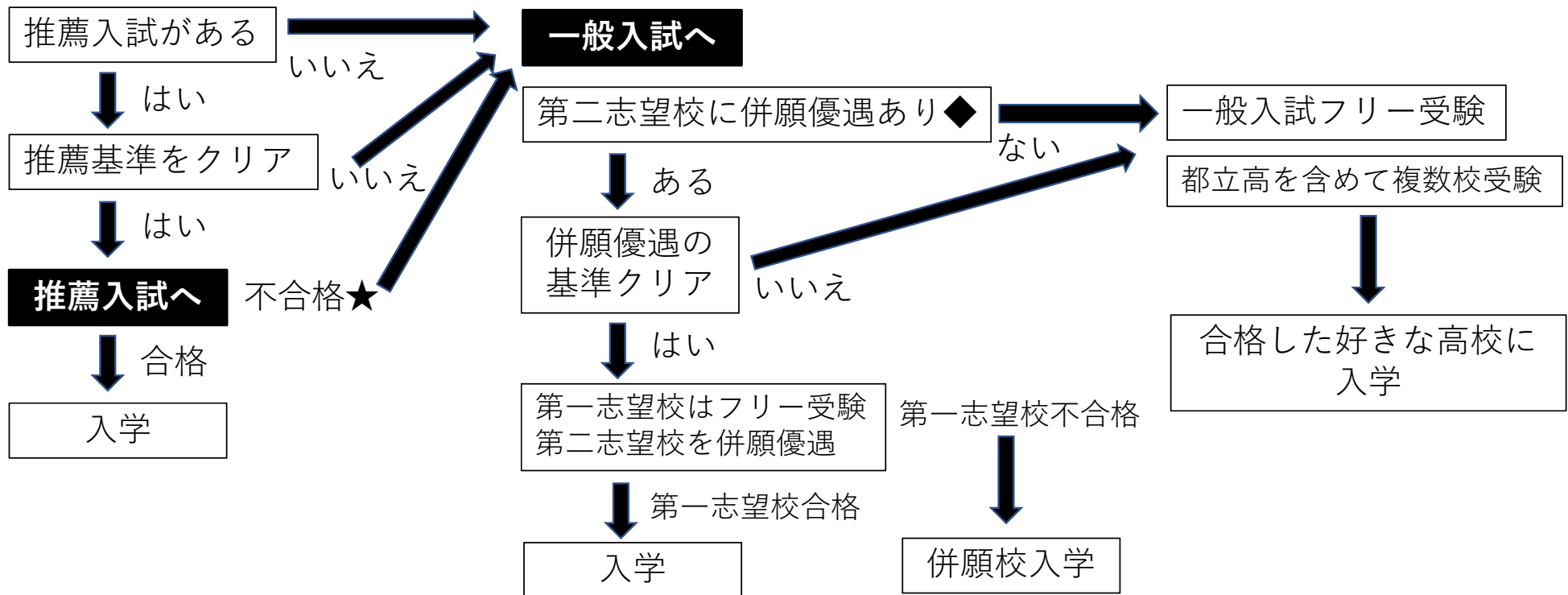
<併願パターン>

- 私立高校が第一志望
- 都立高校が第一志望

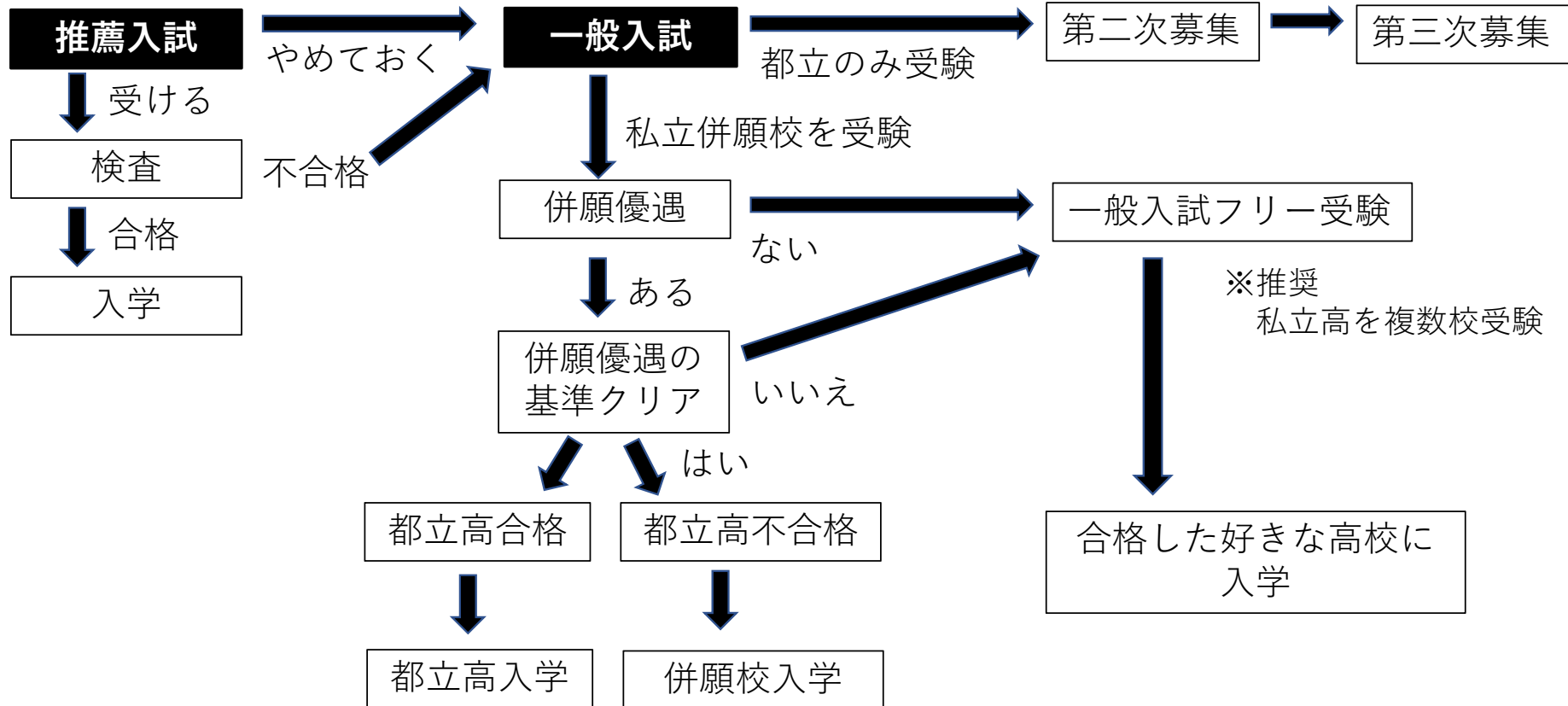
★推薦不合格者の一般再受験は優遇されることがあります。

◆私立併願可能の併願優遇のことです。

【私立高校が第一志望】



【都立高校が第一志望】



<2024 (R6) 年度の推薦・併願基準①>

※必ず募集要項、説明会等でご確認ください。

学校名	推薦	併願区分	併願優遇
共立女子第二	特進 9科36or5科21 総合進学 9科30or5科16or3科10 英語 9科30or5科16or3科10 ただし英検準2級or英「4」	私立併願可	特進 9科38or5科22 総合進学 9科32or5科18or3科12 英語 9科32or5科18or3科12 ただし英検準2級 & 英「4」
啓明学園	9科30or5科17or3科11	私立併願可	9科31or5科18or3科12
駒澤大学	9科34 & 5科20	私立併願可	9科38 & 5科20
下北沢成徳	グローバル 9科31or5科16or3科10 ブロード 9科28or5科15or3科9 セレクト 5科18or3科11	私立併願可	グローバル 9科32or5科17or3科11 ブロード 9科29or5科16or3科10 セレクト 5科19or3科12
聖徳学園	難関国公立 9科37or5科22 文理進学 9科35or5科20	併願優遇	難関国公立 9科38or5科23 文理進学 9科36or5科21 データサイエンス：9科38(出願資格)
昭和第一学園	特別選抜 5科21 選抜進学 9科31or5科18 総進文理 9科28or5科17 総進探究 9科27or5科16 デザイン 9科28or5科17ただし美「4」	私立併願可	特別選抜 5科22 選抜進学 9科32or5科19 総進文理 9科30or5科18 総進探究 9科28or5科17 デザイン 9科30or5科18ただし美「4」

<2024 (R6) 年度の推薦・併願基準②>

※必ず募集要項、説明会等でご確認ください。

学校名	推薦	併願区分	併願優遇
白梅学園	特選国公立 5科23 特選文理 9科35or5科20or3科12 選抜 9科32or5科17or3科11 進学 9科29or5科16	私立併願可	特選国公立 5科23 特選文理 9科35or5科20or3科12 選抜 9科33or5科19or3科12 進学 9科31or5科17
杉並学院	特進 9科34or5科18or3科11 総進 9科32or5科17or3科10	私立併願可	特進 9科36or5科20or3科12 総進 9科34or5科18or3科11
大成	特進 5科19 文理進学 9科29or5科17 情報進学 9科28	公立併願	特進 5科19 文理進学 9科31or5科18 情報進学 9科30
拓殖大学第一	特進 5科23 & 3科14 進学 5科20 & 3科12	私立併願可	特進 9科39 & 5科23 & 3科14 進学 5科22 & 3科13
立川女子	特別進学 5科16or3科10 総合 9科24	私立併願可	特別進学 5科17or3科11 総合 9科25
東京電機大学	男 5科19、女 5科18	私立併願可	5科21（府中市は5科20で可）

<2024 (R6) 年度の推薦・併願基準③>

※必ず募集要項、説明会等でご確認ください。

学校名	推薦	併願区分	併願優遇
日本女子体育大学二階堂	特進 9科29or5科16or3科10 キャリア 9科24or5科13 ダンス、スポーツ 9科25	私立併願可	特進 9科30or5科17or3科11 キャリア 9科25or5科14 ダンス、スポーツ 9科26
八王子実践	J 特進 5科22 特選 5科21 特進 5科20 選抜 9科31or5科17 総合進学 9科28or5科16	私立併願可	J 特進 5科23 特選 5科22 特進 5科21 選抜 9科32or5科18 総合進学 9科30or5科17
文化学園大学 杉並	特進国公立 5科20 特進文理 9科32or5科18 進学 9科29or5科17 DD 5科19 & 英検準2級	私立併願可	特進国公立 5科20 特進文理 9科34or5科19 進学 9科30or5科18
明治学院東村山	男 9科37、女 9科38	公立併願	男 9科37、女 9科38
明星	SMGS 5科22 MGS 9科34or5科20 本科 9科31or5科18	私立併願可	SMGS 5科22 MGS 9科36or5科20 本科 9科33or5科19

<2024 (R6) 年度入試の変更点>

※必ず募集要項等で確認してください。

学校名	変更点
共立女子第二	推薦入試日を1/23から1/22へ 特進の募集人員減：一般②15→5人。推20人、一般①15人は変わらず
下北沢成徳	特別奨学生に「英検準1級は特別奨学生A」を追加
聖徳学園	データサイエンスコース新設（募集人員25人、一般入試のみ） 募集人員減：推40→30人、一般130→75人 推薦入試日を1/23から1/22へ 加点制度の廃止
昭和第一学園	デザインコース新設
杉並学院	推薦入試日を1/23から1/22へ
日本女子体育大学 二階堂	ヒューマンケアコース募集停止 募集人員の変更：キャリア推40→35,一般40→35人、ダンス推10→20,一般10→20人、 スポーツ推15→20,一般15→20人 キャリアデザインにC推薦(単願)導入
八王子実践	募集人員の変更：特選30→20人、特進70→80人
明治学院東村山	推薦入試日を1/23から1/22へ

学費支援制度

年収の 目安	国の就学支援金	授業料軽減 助成金	合計
約910万円 ～ 約590万円	118,800円	+ 356,200円	475,000円
約590万円 ～ 約270万円	396,000円	+ 79,000円	
約270万円 未満			

2023(R5)年度 都内私立高初年後
納付金の平均額

項目	平均額
授業料	483,311円
入学金	253,113円
施設費	36,096円
他	184,399円
計	956,918円

なお、**都立高**の授業料も国の就学支援金の対象で118,800円が支援されます。
このほか、入学金（5,650円）、教材費や旅行積立金、PTA会費、体操服など15～25万円程度が別途必要になります。

以上で終わりです。

ありがとうございました。